

も一應相談して下さいとの事でありましたから、私はそんな事はない苟しくも財産あれば借る必要はない、無いけれど七借るのだよし天れでは何か行つて父かして見保と言つて勤銀の支店長初内に出ません」そこで私は天れは普通の事であつて今同は特別ではないか特別であればこそ七十一組となつて居るのではないか外資に十人一組となしあるは強盗なく共十人の内一人位は同収用能の者あるとの見地から割出したものと思はれる天れに財産なき者は内令十八一組としても貸與せぬとは若か同収不能の事台自己の面目を失うると言ふ觀念から出来ないと言ふんだな、と突込んだ所そんな譯ではないか鬼に用いれないから、不特己私は自分の金を都合して貸與致した様な次第であります。故に表面は農民を救ふと言つて居るか決して左様でない。農民よ心配するな必ず取

府が救つてやると縣廳や市町役場から通知書を出す併し懸々となると勤銀を利用して調査の結果云々で貸さない當局に向つて交渉すれば勤銀は天々内城があるそうだからとて礼手トせず避けるそんな事なら始めから通知せぬか増してある所々に土地に建物に或は電車の中等に金融は勤銀へ取扱散逸金利は安い等廣告をして居るか懸々となると調査に藉口し敏速でもなければ町等でもないこれか勤銀の内幕であります。一九二五年も終らんとする今日何か非常時でありますか、何を言いても國民の窮乏こそ非常時でなくて何であらう。昨年度の半昔本年の風水害あの大自然の大敵が國民の大なる痛手である事は疑ふ余地なし其の表れとして生活難に追はれて天痴心中、家族心中等々切手に送なき次第であります。天れに何ぞや資本家連中は自動車を買せ、料理屋等に登櫃し酒食に耽り遊興三昧を頂せられて居る此の有餘此の同運つた